



CONTENTS

和泉の実習への取り組み.....	2
卒業生の活躍 特別編～学長対談～	3
2017年度新任教員紹介	5
2016年度決算書・2017年度予算書 概要	6～7

2017年度 聖句

「あなたがたの光を人々の前で
輝かしなさい。」

(マタイによる福音書第5章16節)



実習・ボランティアセンターの役割

実習・ボランティアセンター長 准教授
山本 美貴子

「子どもの頃から憧れた仕事に就きたい」誰かを支える仕事にしたい。

様々な志をもって和泉短大で学ぶほとんどの学生は、卒業後その夢を実現し、保育・福祉の仕事に就きます。人に寄り添う専門性の高い仕事ですから、資格・免許を取得して現場に立つことは簡単ではありませんが、学生は4回の実習(保育所・福祉施設3回、幼稚園1回)を経て成長し、この仕事のやりがいや喜びを実感し果立っていきます。

歩みの主体は学生自身ですが、2年間の実習関連授業を担当し学びに寄り添う各グループ「実習指導担当教員」と、本学教員・進路支援を含む経験豊かな職員・実践経験を有する実習助手による「実習・ボランティアセンター委員会」が協力して、入学後実習修了まで、学生の事前事後学習と実習を支えます。

当センターは、保育者養成61年の取り組み、地域の実践現場の温かいご協力、活躍する多くの卒業生の応援など、本学の恵まれた環境を土台に、実習ルー・授業計画を整え、実習先との連携を強め、新しい教育方法に積極的にアプローチしつつ独自の教科書の編纂等、和泉ならではの実習教育の実現を目指しています。

また学生にとつてのセンターは、信頼される人として実践現場に踏み出すスタートラインのような場所でもあります。センター一同、学生を応援する驚くほど熱い想いと、質の高い保育者養成の責任を胸に、優しく厳しいペースキャンプの役割を担っていきたくと願っています。



実習を通して

2年 丹 由梨絵

(県立上溝高等学校出身)



保育園実習を通して、年齢や月齢などの個人差に合わせた援助の大切さを学びました。乳児から幼児まで全てのクラスに配属させていただく中で、進級を意識した声かけをし、子どもたちが自ら挑戦してみようと行動する姿一つ一つの必要性を感じました。授業で学んだことを基に保育を見るようにすることで、より具体的な事例として理解を深めることができました。また、どの年齢の子でも一人ひとりと向き合い個性を理解することで、少しずつ対応が変わってくるということも学びました。実際の現場を見ることがより保育についての理解を深められると感じたため、この学びを今後も大切にしていきたいです。

2年 小林 琴音

(県立麻生高等学校出身)



私は、障がい者施設で実習を行いました。障がいがある方との深い関わりは今回の実習が初めてでした。そのため、どのように関わっていくか分からず戸惑うことだらけでした。しかし、職員の方の姿やご指導からタイミングが大事だと感じました。例えば食堂に行かなくてはいけない時間だとしても利用者さん自身に行きたくないという気持ちがあればタイミングが合わないことになりました。そのため、少し早めに声をかけ始めたり、食堂に行きたくなるような言葉を選んだりするなど、援助する側がタイミングを合わせることを学びました。辛いこともありましたが自分のためになった実習でした。

2年 村田 愛

(県立麻溝台高等学校出身)



幼稚園実習を通して、私が理想とする教諭になるには、今現在の子どもの姿を見る観察力や洞察力が必要だと学びました。園でのねらいを明確にします。その際先生方は、現在の子どもを正確に捉え、何に興味を持ち、何がやりたいのかを考え、活動を決めているようでした。また、子どもの姿が見えて、初めて一人ひとりに適した言葉掛けや援助ができると感じました。実習で学んだことを胸に、自己満足にならない子どもの主体性を大切にする保育者になるよう、今後も学び続けたいと思います。

専攻科 中村 優菜

(私立光明学園相模原高等学校出身)



私は、特別養護老人ホームで実習を行いました。今回の実習で初めて認知症の方と関わりました。認知症の方とのコミュニケーションの中で、質問したことと違う回答が返ってきたり記憶が曖昧だったりすることもあったので、質問の仕方や言葉を変えたりジェスチャーをするなど、伝わるように自分なりに工夫をしました。伝わる時もあれば伝わらない時もあるのでどのようにしたら伝わるか、研究と実践の毎日でした。今回は短い期間の実習だったのですが、このことは活かすにつなげられるように勉学に励みたいと思います。

和泉の実習への取り組み

卒業生の活躍 (第17回)

特別編 (学長対談)

中村 絵美さん

シンガーソングライター(2002年卒業)

音楽活動はいつからされていたんですか？

中村 和泉では、幼稚園の先生になりたいと思ってなかったです。でもグループの仲がすごくよくて。その中で、バンドを組もうってなって、その時みんなと一緒にバンドを組んだのが、音楽を始めるとききっかけです。2年では軽音部を作って、ずっと練習していました。

では在学中の思い出は軽音？

中村 軽音ももちろんだし、グループでの活動全部です。これまでの学生生活の中で、和泉が一番楽しかった。未だに当時の友達と会いますよ。



Nakamura Emi
2016年1月、日本コロムビアよりメジャーデビュー。デビューアルバム[NIPPONNO ONNAWA UTAU BEST]に収録の「YAMABIKO」が、全国のCSやFM/AMラジオ52局で1周プレイを獲得。2nd Album [NIPPONNO ONNAWA UTAU Vol.4]が発売中。

中村 卒業してからも、先生の個展に行ったり、音楽で本当に悩んでいるときに先生に会いに行ったりしています。

中村 そうですね。みんなよく分かりますよ。絵美さんの悩み、すごく分かりますよ。みんなよく分かりますよ。

中村 いっぱいあります！まず、和泉で出会った人が私の音楽のスタートですから。その

中村 和泉での経験から活かされているものはありますか？

中村 それと、かっこいいなと思った人から、それこそ正直人も含め、いろんな大人に会うって大事だと思います。佐藤先生からのアドバイスも、何年後とかにすごく腑に落ちることがある。そういう人がいると、何かあったらまた聞きに行こうって思えるから。



中村 佐藤 絵美さんの実習園に行ったこともありましたね。

中村 卒業してからも、先生の個展に行ったり、音楽で本当に悩んでいるときに先生に会いに行ったりしています。

中村 いっぱいあります！まず、和泉で出会った人が私の音楽のスタートですから。その

中村 和泉での経験から活かされているものはありますか？

中村 それと、かっこいいなと思った人から、それこそ正直人も含め、いろんな大人に会うって大事だと思います。佐藤先生からのアドバイスも、何年後とかにすごく腑に落ちることがある。そういう人がいると、何かあったらまた聞きに行こうって思えるから。



中村 佐藤 絵美さんの実習園に行ったこともありましたね。

中村 卒業してからも、先生の個展に行ったり、音楽で本当に悩んでいるときに先生に会いに行ったりしています。

中村 いっぱいあります！まず、和泉で出会った人が私の音楽のスタートですから。その

中村 和泉での経験から活かされているものはありますか？

中村 それと、かっこいいなと思った人から、それこそ正直人も含め、いろんな大人に会うって大事だと思います。佐藤先生からのアドバイスも、何年後とかにすごく腑に落ちることがある。そういう人がいると、何かあったらまた聞きに行こうって思えるから。



2017年度の新たな試み

NEW!

幼稚園(子ども園)保育体験

副学長・教務部長 教授 松浦 浩樹

本年度より「幼稚園保育体験」を7月3日(月)に実施しました。本学17名の児童福祉学科専任教員が15名前後の学生と幼稚園を訪問し、保育を体で感じる試みとして実施しました。これは、学生が実習や就職時に、日誌等の書類提出に追われ、過度に評価を心配し緊張するため、保育園と連携した体験型の学び「ふれあい体験」の実績を基にしています。

本学が捉える「保育」に近い実践が行われている17園に教員が引率し一緒にその実際を学ぶことは、学生・教員双方に有意義なことであったようです。幼稚園も「和泉に選ばれた園」として、快く受け入れてくださり、細やかな準備をして迎えてくださいました。

また幼稚園の特徴でもあります「保護者会の活動(お誕生日会に向けての保護者の準備等)」も見学させていただき園も多くあり学生たちに刺激になりました。

「預けっぱなし、ではなくて、こうやって母親同士も協力しながら保育を支えることで、母親の輪が繋がるんだと思い、実は大切なことだということが分かった」(事後学習での1年の感想:幼稚園出身)

体験を通して幼稚園(子ども園)の保育に共感し、子どもの存在そのもの、そして育ちが大切にされ、幼稚園の先生方が懸命に子どもに向き合っておられる姿に学生達は、この職の尊さを肌で感じ、入学して3か月、机上の学修と保育の実践がつながり、保育職への希望、実習意欲の高まりを促すことができたと思われま。



(幼稚園でのミーティング)



TOPICS

●2017年度高校教員進学説明会

2017年5月24日(水)、25日(木)の2日間、本学にて「2017年度高校教員進学説明会」を開催いたしました。本学の概要説明、2018年度の入試説明の後、個別相談、学内見学をしていただきました。

●第9回 保育・福祉科目高校教員研究会

2017年6月7日(水)、第9回保育・福祉科目高校教員研究会を開催し、東京都、神奈川県保育福祉関係科目担当教員に参加いただきました。片山知子教授による講義「子どもたちの世界を豊かに-求められる保育者として-」、教育研究「牛乳パックで作る簡単人形」を行いました。



●第1回和泉プレカレッジ

2017年6月10日(土)、相模原市内の高校3年生44名を対象とした公開セミナー「和泉プレカレッジ」を開催しました。千葉仁非常勤講師による「ハンドベルについて-天使の響ハンドベルを奏でよう」と、須藤みぎわ非常勤講師による「身体をつかった表現遊び」を受講していただきました。



●就職懇談会・就職説明会

2017年5月29日(月)、キャリアデザインⅡの授業にて「卒業生を招いての就職懇談会」を実施しました。保育所、認定子ども園、児童養護施設に勤務している卒業生を招き講演をしていただきました。また横浜市私立保育園園長会、横浜市子ども青少年局子育て支援部保育対策課、横浜市幼稚園協会の方々に就職説明を行っていただきました。



●後援会第10回総会

2017年5月27日(土)、和泉短期大学後援会第10回総会が開催されました。雑賀えり子後援会会長の挨拶に始まり、2016年度事業報告・決算、中期事業計画、2017年度事業計画・予算が審議され承認されました。総会后、平田美智子教授による記念講演「地域と子育て支援-地域子育て支援拠点事業を中心に-」が行われました。



2017年度新任教員紹介

准教授 中野 陽子



院へと進学し、2008年から2年間、和泉の実習・ボランティアセンターで助教として勤務させて頂きました。その後、社会福祉士養成校での勤務を経て、縁あって再び母校へ戻り働かせて頂いております。
「3度目の入学」となりますが、自分自身が和泉生だった頃を思い出しながら、学生の気持ちに寄り添い、多くの後輩達を育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

准教授 平沼 晶子



私は大学で心理学を学んだのち民間の研究機関に勤務し、その後は専業主婦として子育てをしていました。その過程で子どもの育ちと親支援の重要性を実感し、大学院で発達心理学を学び直しました。このように、今日までの道はまっすぐではなく、その時々気づきや出会いがあり、導かれたように思います。和泉での2年間は学生さんにとってかけがえのない時です。ここでの学びと出会いが、社会に巣立った後も様々な形で支えになっていくと思います。この大切な時期に皆さまと共にいることは私にとって喜びであり、同時に責任の重さに身が引き締まる思いです。

これまで大学教育に携わりながら、臨床心理士として乳幼児健診の心理相談等に従事してきました。現場で得た知見も交えて、子ども理解や子育て支援について一緒に学んでいきたいと思っております。よろしくお願致します。

助教 上田 よう子



愛と奉仕の精神に惹かれ、今年度より和泉短期大学の助教として勤務させて頂いたことになりました。療育センター、幼稚園、公立保育園と様々な子どもと出会った保育士時代は、子どもと共に楽しむ学びながら自分自身も先生方と共に関わり、情熱を注いで参りました。今後は学生さんと共に保育の奥深さ、面白さを学びながら自分自身も先生方と共に関わり、情熱を注いで参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

専攻科介護福祉専攻 特任講師 下西 潤子



私は、社会福祉士及び介護福祉士法の成立以前から、「温かい心と確かな知識・技術を持った専門性の高い介護の担い手を養成するために」と創設された和泉福祉専門学校(介護福祉専攻科の前身)で専任教員をさせていただいていました。今年度より、再び専攻科介護福祉専攻で学生さん達とともに介護の素晴らしさを学び合う機会をいただいたことに感謝しております。創立時の理念を大切に歩みたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

人事

退職

(2016年9月30日付)
河合 高鋭 専任講師
(2017年3月31日付)

伊藤 忠彦 特任教員(任期満了)
相馬 靖明 准教授
山本 正司 専任講師(専攻科介護福祉専攻)
久保田美沙子 助教(契約)

片山 知子 宗教部長(任期満了)

就任

教員部長 任期(2017年4月1日~2019年3月31日)
松浦 浩樹 和泉短期大学副学長・教務部長・ALLO
西田 恵一郎 宗教部長(兼)
櫻井 奈津子 地域連携推進センター長・図書館長
鈴木 敏彦 入試広報部長
大下 聖治 学生部長
山本 美貴子 実習・ボランティアセンター長
(2017年4月1日付)

任用

武石 宣子 特任教員
下西 潤子 特任講師
平沼 晶子 准教授
中野 陽子 准教授
上田 よう子 助教(契約)
石川 佳代 職員(任期) 学生支援ユニット

昇任

木村 文紀 経理・施設ユニットサブリーダー(主任)

復職

池田 なつみ (育児休業)

配置

平塚 豊 (兼務は線の箇所を新たに発令)
深町 和哉 (学術情報ユニットリーダー)

表彰

全国保育士養成協議会 平成28年度教職員表彰
佐藤守男学長・教授
キリスト教保育連盟 永年勤続表彰
土橋正文事務局長 松浦浩樹副学長・教授
井狩芳子教授 山本美貴子准教授
吉田耕也教育・学習支援ユニットリーダー
今泉治子庶務ユニット主任

訃報

故 佐藤 千穂氏
(佐藤 守男 第8代学長・教授)ご母堂
主による平安をお祈りいたします。
2017年7月10日 享年85歳

— 資金収支計算書(概要) —

Table with columns for '科目', '2016年度決算額', '2017年度予算額'. Includes sections for '収入の部' and '支出の部'.

Table with columns for '科目', '2016年度決算額', '2017年度予算額'. Includes sections for '収入の部' and '支出の部'.

— 2016年度 貸借対照表概要<2017年 3月31日> —

Table with columns for '科目', '2016年度末', '2015年度末', '増', '減'. Shows assets and liabilities.

— 事業活動収支計算書概要 —

Table with columns for '科目', '2016年度決算額', '2017年度予算額'. Includes sections for '教育活動', '外収支', and '特別収支'.

Table with columns for '科目', '2016年度末', '2015年度末', '増', '減'. Shows liabilities and net assets.

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 1,857,226 千円
2. 翌会計年度以降の基本金への組入額 0 千円

— 2016年度決算書概要説明 —

健全な経営状態

2017年5月20日(土)開催の理事会、評議員会において2016年度決算が承認されました。
2016年度決算概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、2013(平成25)年度に学校法人会計基準の一部が改正され、2015年度の会計年度に係る会計処理及び計算書類の作成から適用されることになりました。

貸借対照表は、2016年度末における当法人の資産の部、負債の部、純資産の部の3つの要素から構成され、学校法人の財政状態を明らかにする計算書です。有形固定資産の土地、建物、構築物、機器備品等については、取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。

— 2017年度予算書概要説明 —

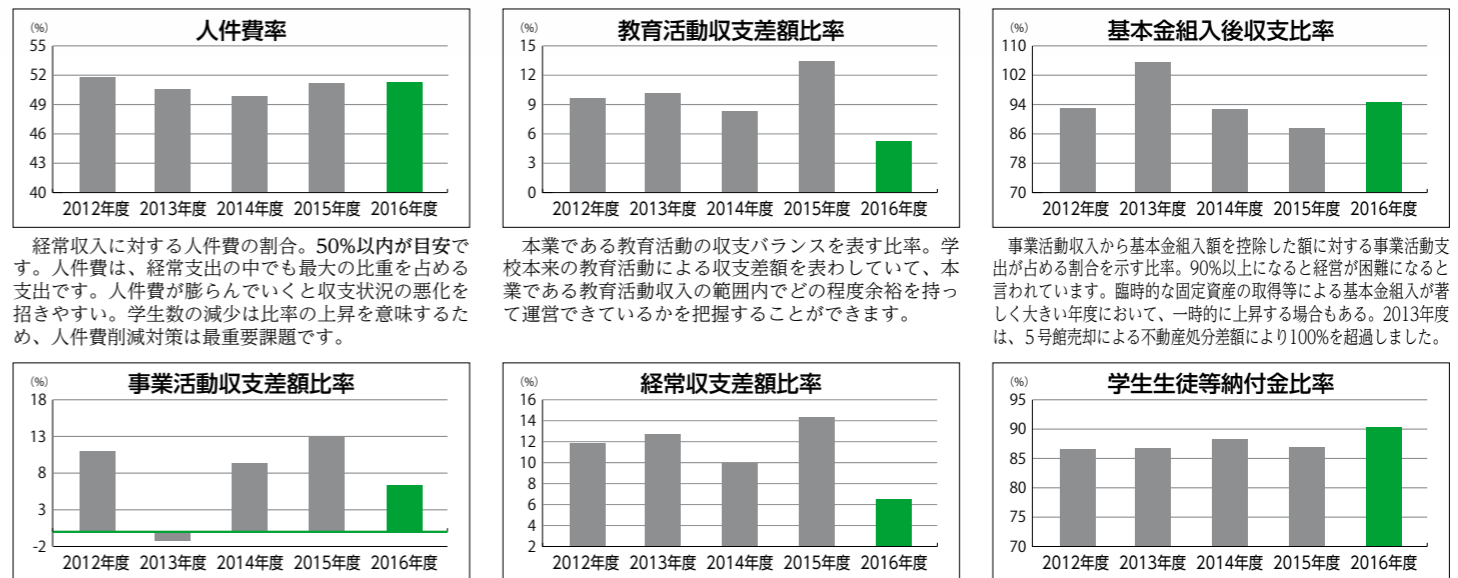
2017年3月24日(金)評議員会、理事会において2017年度予算が承認されました。計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書で構成されます。2017年度予算の概要を説明いたします。

今後の和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少(2018年度問題)、保育者養成校の増加、入学定員の厳格化による4年制大学の入学定員増等、本学を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しています。また、2016年度は、私立大学の約45%(257校)、短期大学の約67%(208校)が入学定員未充足の状況です。

— 2016年度 貸借対照表概要<2017年 3月31日> —

— 事業活動収支計算書の財務比率推移(グラフ)と説明 —



従来的な財務比率。学校法人の純利益を表わす、重要な財務比率です。比率がプラスで大きいほど自己資金が充実している。プラスから将来の施設設備の取替更新の余裕を示す。マイナスは経営不安の指標にしています。2013年度は専門学校の売却処分により、マイナスになりました。

2017年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年に東京都世田谷区中町でバット博士記念養成所を開設し、同年5月現任訓練講習会が開催されたことに始まります。2017年5月で創立61年を迎えました。教育の充実を図り、学修環境整備、施設維持整備を目的に、2017年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。皆様には出費多難の折と存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●募金対象事業

1. 震災・災害対策(建物非構造物(天井)改修工事)
2. 災害対策用井戸設置(憩いの広場)
3. その他教室環境改善費他

●募金目標金額

10,000,000円

●募金募集期間

2017年7月 ～ 2018年3月

●募金金額

1.個人 1口 5,000円 2.法人 1口 10,000円

●所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)については、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

●法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて「受配者指定寄付金」として全額損金に算入することができます。詳しくは、下記あてにご連絡ください。

●募金問い合わせ先

学校法人和泉短期大学

経理・施設ユニット 042-754-1133

IZUMI
JUNIOR COLLEGE

学校法人
和泉短期大学

第51回 いずみ祭「いこうよ！和泉のミュージックワールド」

10月28日(土)・29日(日)に第51回「いずみ祭」を開催します。テーマは、「いこうよ！和泉のミュージックワールド」です。各グループが一致団結して歌い上げる見事な合唱と歌に合わせたパフォーマンスのサウンドコンテスト、子どもから大人まで楽しめる様々な出し物や模擬店、高校生向けの個別相談会など、イベントが盛りだくさんです。

熱気と感動に包まれるいずみ祭にぜひお越しください。

いずみのひろっぱ(同窓会主催)

10月28日(土)11時30分～13時30分、

10月29日(日)10時～16時 於：303教室

スクールバス発車時刻(両日)

相模大野駅・淵野辺駅共 9時30分、10時30分、11時30分、12時30分



夏期休業期間中の工事について

夏期休業期間中に下記の通り工事を実施します。

ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 震災・災害対策(3号館1階学生食堂天井耐震補強工事) | 8月3日～25日 |
| 2. 災害対策用井戸設置工事(1号館憩いの広場に設置) | 8月7日～25日 |
| 3. トイレ前に隔版設置 | 8月8日 |
| 4. 階段側面に掲示板設置工事(1号館事務局前階段1～3階) | 8月8日・9日 |
| 5. 教室の黒板位置を下げて教壇撤去(203・303・304・305教室) | 8月17日・18日 |
| 6. 受水槽マンホール補修工事(1号館憩いの広場) | 8月19日 |
| 7. ピアノ調律・修理(1・3・4号館の41台) | 8月21日～25日 |
| 8. 学生用ロッカー取替更新(1号館2・3階) | 8月23日 |

担当 施設ユニット